

# 三重ふるさと新聞

(毎週木曜日発行)  
発行所 株式会社三重ふるさと新聞  
津市東丸之内26-12  
☎ (059) 222-3330(代)  
Zファックス 059-7000-1200、1201  
FAX (059) 222-3331  
メール: furusato@ztv.ne.jp

語りこめ集をむくむく

## 三重県教育文化会館

津市桜橋二丁目  
TEL (059) 2228-1122

# 企業見学や体験情報発信

津商工会議所の「津の観光文化を発展させる委員会」は、工場見学や産業体験ができる津市内の企業を紹介する『産業観光ガイド』を従来の印刷物から、より広域に発信できるウェブ版へと改訂し今年1月より公開している。産業観光は全国的にも注目を集めており、誰もが知るヒット商品から知られざる逸品まで多彩なものづくりが行われている津市の魅力を全国にPRする際に大きな力となりそうだ。

## 津のものづくりは凄い！

津商工会議所の「産業観光ガイド」は元々、平成20年にパンフレットとして発行されたが、情報をより広く伝えられるようにと平成22年より同商議所の「津の観光文化を発展させる委員会」の小柴貞治委員長が改訂作業に入っていた。その結果、より多くの人に情報を届けられるウェブサイトにという形で今年1月にリニューアルされている。

産業観光の盛り上がりに伴い、登録企業数も以前の10社から26社へと増加。サイト上では各社の見学や体験できる内容・所要時間・見学条件など詳細情報が確認できるほか、食べる・体験する・買うといったカテゴリ別に検索もできるの

も特色の一つといえる。6月18日にはガイドに掲載されている企業の魅力を再確認するため、同委員会の小柴委員長を始めとする委員や同商議所職員ら20名が掲載企業の中から5社6カ所(㈱松阪鉄工所(雲出工場・本社工場)・井村屋グループ(㈱・三重テレビ放送・パイロットインキ(㈱津工場・㈱岩出園学研究所)を一日かけて見学した。全国的に有名なあずきバーなどの生産工程が見学でき、超お値打ちな販売コーナーを完備している井村屋グループや、テレビ放送の現場を見学しながらカメラマン体験ができる三重テレビ放送、免疫効果を高める姫マツタケを筆頭に様々なキノコを栽培している岩出園学研究所と、各社共それぞれ魅力的で参加者たちは移動する度に新たな発見をしていったが、特にその中でも参加者から印象に残ったという



三重テレビでのカメラマン体験

真っ赤に焼けた材料をエアハンマーで叩く光景や、その時に出る地響き・音を介し、五感でもものづくりの素晴らしさを感じていた。また、年間2億4千万本の水性ボールペンを製造しているパイロットインキ津工場(津市片田町(片田工場団地内))も印象に残ったという。この工場では、ボールペンの頭頂部でこのように書いた

文字が消える同社の大ヒット商品「フリクション・シリーズ」を世界で唯一生産すると共に、このペンに使うメタモインキもここで生産している。また、総生産量の7割を世界各国に向けて輸出し、品質の良さから欧米など書類にサインをする文化のある国で特に高い評価を受けている。そのため、商品表示だけでも多種多様な言語が使われており、超多品種製造なので、職人技頼みの工程も少なくない。製品のサイズに合った小型の作業ロボットの軽妙な動きと、職人技が同居する鮮やかな作業に参加者たちは感動していた。

この日の行程を終えた小柴委員長は「津市の企業は高い技術を持って発展してきたことを改めて感じた。ガイドをウェブ版に改訂し登録企業も増えたので、もっと沢山の人の来てもうえたら」と展望に期待する。同商議所の山口修専務も、「製品を見ているだけでは分からないものづくりの凄さを目の当たりに出来る。また津から世界に出て行っている商品があることを知って頂きたい」と産業観光の魅力を改めて語った。

もちろん、この日見学した以外の21社もいずれも劣らぬ魅力を持った企業ばかり。学校の社会見学だけでなく、家族や小グループで見学できる場所もあるなど企業によって様々なスタイルで楽しむことが出来る。

今後、同商議所では旅行者の担当者向けの見学会を開くなど、新たな観光資源としての魅力を秘めた産業観光を様々な形で発信していく。その中で、この産業観光ガイドが果たす役割は一層大きくなるだろう。

産業ガイド <http://www.tsuoci.or.jp/sankan/>  
サイトの問い合わせは 津2228-9141へ。

## 津商工会議所のウェブサイト

# 『産業観光ガイド』